



丸坊主だらけの教室



昔、当時中学生の弟が、学校帰りに床屋で丸坊主にしてきた。「失恋でもしたのか!?!」と聞いたら、「小学校からの女の子の友だちが今日から登校するようになったからだ」と言う。彼女は今まで病気で入院しており、薬の副作用で髪の毛が全部抜けてしまったらしい。「女が丸坊主じゃ恥ずかしいって言ってたし、だったら、他にも丸坊主がいりゃいいかなと思って。野球部の奴等は元々丸坊主だけど、野球部じゃない丸坊主がいた方がいい」と弟は言っていた。

翌日、丸坊主で登校した弟は帰宅するなり、「同じ事考えた奴が、一杯いた……」と。何でも、優等生から茶髪問題児を含め、クラスの男子全員が丸坊主か、それに近い頭になっており、病気の子と仲が良い女の子たちまでベリーショート、一人は完全な丸坊主になっていたらしい。更に担任の先生(男性)まで丸坊主。丸坊主だらけの教室で、病気の子は爆笑しながら「ありがとう!ありがとう!」と泣いたという。示し合わせたわけでもないのに、全員同じことを考える当時の弟のクラスに和んだ。ちなみに、病気の子は今も健在、弟は意外に丸坊主が気に入ったらしく、それからずっと丸坊主。



骨の役割 人間の体は約200本の骨!?



私たち人間の体は、およそ200本の骨で支えられています。人体における骨の役割は、体を支え、動かすこと、内臓などの体の器官を保護することだと言われています。しかし、最新の研究によると、別の重要な役割を有していることがわかってきました。骨が全身の若さを司っているのです。運動などで骨に適度な刺激が加わることにより、骨から出る「オステオカルシン」という物質が、血液を介して全身に届けられ、記憶力や筋力などに良い影響を与えるといいます。

こうした例のように、様々な分野で、これまで知られていなかった事実が明らかになっています。今までの常識を覆す新発見や、かつては良しとされていたことが、実は誤りだったとわかる場合もあります。特に、教育に関わる情報に対しては、常にアンテナを張って、生きた情報を入手する姿勢が求められるでしょう。新たな変化に出合った際は、これまでの考え方や知識を一度捨てて、受け止めてみる柔軟さも大切です。

